

第68回国民体育大会スポーツ祭東京2013ハンドボール競技

競技日	10月 6日(日)	試合番号	E-た	準決勝
種別	少年女子	会場	武蔵村山市総合体育館	

試合結果・戦評報告

Aチーム名			Bチーム名		
香川県			東京都		
得点合計	小計		小計	得点合計	
20	12	前半	6	17	
	8	後半	11		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7MTC			

戦評

少年女子準決勝は、香川県対地元東京都との一戦。会場は地元への大声援の中、東京都スローオフで試合開始。開始早々、香川県No.6内海の速攻で先制。すかさず東京都はNo.6大谷の速攻、No.2長谷川のサイドシュートで連続得点。香川県もNo.2谷のカットインからの3連続得点し8分過ぎ4対2と逆転する。序盤まで東京都は香川県の持ち味である速攻を素早い帰陣で封じ込め、12分過ぎまで5対3。しかし、香川県は徐々にGK馬場を中心とした堅守でリズムを作り、連続速攻とNo.2谷のカットインで16分までに8対3とする。東京都は香川県のフットワークを活かした粘り強いディフェンスの前になかなかリズムが作れないでいた。その間、香川県はNo.3畠山の速攻、ミドルなどで確実に得点をしていき25分過ぎに11対4と大きくリードを広げる。その後、東京都はNo.7亀井のポスト、No.3河原畑のミドルで応戦するが、前半を12対6として香川県がリードして前半を折り返した。

後半、香川県No.10谷の速攻で先制。東京都はNo.11高野のポスト、No.3河原畑のロングで5分過ぎ13対8とする。その後、東京都GK八木のファインセーブや、No.3河原畑が連続得点し13分過ぎまでに13対10と3点差に詰め寄る。しかし、香川県は連続得点し、18分過ぎ16対10とする。一方東京都はGK八木の好守、No.9川上のサイドシュートなどで4連続得点し22分過ぎに16対14と2点差とする。その後お互いに得点を取り合う一進一退の攻防が続くが、東京都はNo.3河原畑の本日10点目となるロングシュート、No.9川上のサイドシュートが決まり、ついに18対17と一点差に詰め寄る。東京都は残り2分を切ったところでオールコートマンツールのディフェンスをするが、香川県No.6内海、No.5西谷に得点され20対17で香川県が勝利した。両チーム展開の速い見応えのある好ゲームであった。

送信日時	10月 6日(日) 12:40	送信者名	武蔵村山会場
------	-----------------	------	--------